

# plus 遠近両用 プラスビュー VIEWⅡ

Rigid Gas  
Permeable Lens  
for Presbyopia

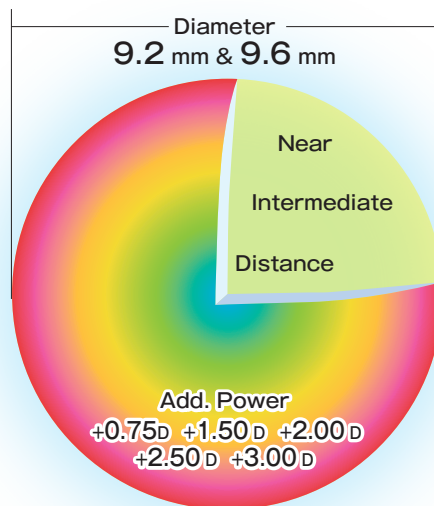
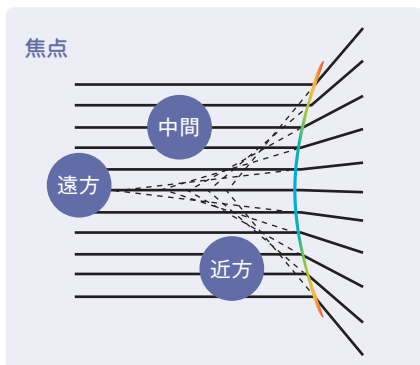
販売名：ニチコンプラスビュー(医療機器承認番号21100BZZ00460000)

## プロダクトガイド

### 【前面非球面・後面球面デザイン】

イメージ図①

レンズ中心部から周辺部にかけて遠用～中間用～近用の光学ゾーンを形成、度数は累進的に変化しています。累進度数ゆえの無理のない「同時視機能」と、近方視時での「交代視機能」が効果的にシンクロナイズするように設計されています。これにより、遠方⇄近方のめまぐるしい視線移動にも即時に応答し、像の遅れやジャンプがなく、遠方・中間・近方のすべてにおいて常にシャープな視力を得ることができます。



周辺部	中心部	周辺部
+交代視	同時視	+交代視
近用ゾーン	中間用ゾーン	遠用ゾーン

アイミー株式会社

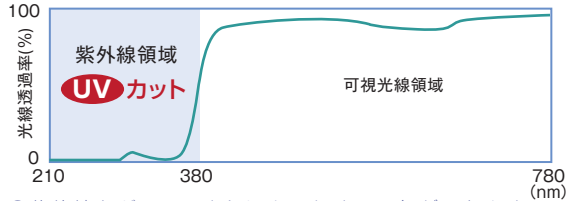
# 特 長

## 1. レンズ素材

構成モノマー：フッ素含有メタクリレート系化合物およびケイ素含有メタクリレート系化合物

着色剤：アントラキノン系着色剤

紫外線吸収剤：ベンゾフェノン系紫外線吸収剤（共重合タイプ）



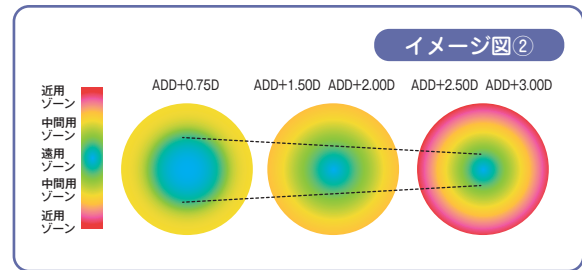
●紫外線をグラフのようにカットすることができます。

## 2. レンズ物性

可視光線透過率	90%以上	T=0.2mm/380~780nm
屈折率	1.416(1.417)	$n_d^{25}$ ( $n_e^{20}$ )
酸素透過係数	$100 \times 10^{-11}$	( $\text{cm}^2/\text{sec}$ ) (mLO <sub>2</sub> /mLxmmHg)
硬 度	113	ロックウェル硬度
レンズカラー	アイスブルー	—

## 3. レンズデザイン(表紙のイメージ図①を参照)

プラスビューIIは、レンズ前面に加入度数に応じて非球面を採用し、レンズ後面は、ほぼ球面で構成されています。  
 プラスビューIIは、単焦点から初めて遠近両用を使用する時に慣れやすい「低加入度数(ADD+0.75D)」の疲れ目軽減の初期老視から中期及び成熟期(ADD+1.50~+3.00D)の老視を対象とした遠近両用の酸素透過性ハードコンタクトレンズです。(イメージ図②)



## 4. 製作範囲

ベースカーブ*1(mm)	7.00 ~ 8.50	球 面 度 数*2(D)	+3.00 ~ -15.00
直 径(mm)	9.2 9.6	加 入 度 数(D)	+0.75 +1.50 +2.00 +2.50 +3.00

※1 ベースカーブは、0.05 (mm) ステップになります。

※2 球面度数は、0.25(D)ステップ、但し、S-10.00(D)以上は、0.50(D)ステップになります。

## 5. トライアルレンズセット

### ○低加入度数 ADD+0.75Dセット

単焦点から初めて遠近両用を使用する初期の老視の方に慣れやすいデザイン構成になっています。  
 単焦点レンズの度数を弱めで使用している方や、長時間の近方作業時に疲れやすい方にもおすすめです。

ベースカーブ*1(mm)	7.30 ~ 8.20
直 径(mm)	9.2
球 面 度 数*2(D)	S-3.00
加 入 度 数(D)	ADD+0.75
合 計 枚 数	19枚(各1枚ずつ)



### ○加入度数 ADD+2.00Dセット

初期から成熟期(ADD+1.50~+3.00D)の老視で遠用から中間さらに近用を目的とした方に適したデザイン構成になっています。最も処方比率の高い加入度数 ADD+2.00(D)を基準としました。

ベースカーブ*1(mm)	7.30 ~ 7.65	7.70 ~ 8.20
直 径(mm)	9.2	9.6
球 面 度 数*2(D)	S-4.00	
加 入 度 数(D)	ADD+2.00	
合 計 枚 数	19枚(各1枚ずつ)	

※1 ベースカーブは、0.05 (mm) ステップになります。

※2 各トライアルレンズセットで球面度数が異なりますので注意してください。  
 (ADD+0.75Dセット→S-3.00D、ADD+2.00Dセット→S-4.00D)

# フィッティング

## 1. 処方手順

ニチコンプラスビューⅡの処方に際しては、下記の手順を参考にしてください。



## 2. ⑧ トライアルレンズの選定

・加入度数ADD+0.75DとADD+2.00Dから選択します。

ADD+0.75Dセット	ADD+2.00Dセット*
単焦点レンズの度数を弱めて使用している方。 弱度数の目安(S+0.25~+1.00D) 特に遠方の見え方を重要視される方。	初期から成熟期の老視眼の方。 加入度数の目安(ADD+1.50~+3.00D)。 特に中間から近方の見え方を重要視される方。

\*遠近両用コンタクトレンズの見え方には、個人差があり、慣れが必要です。  
初回は、トライアルレンズの加入度数からお試ください。

## ベースカーブの選択

レンズのベースカーブは、角膜曲率半径の強主経線値と弱主経線値の中間値により判断します。トライアルレンズの第一選択は、『角膜曲率半径の中間値+0~0.04mm』に最も近いベースカーブを選択してください。但し、角膜曲率半径の測定範囲は、角膜中央部3mm~4mm程度でしかなく周辺部は個人差により形状が異なりますので、最終的にはフィッティング検査によって決定してください。

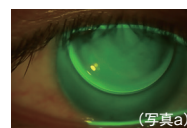
$$BC = \frac{\text{強主経線曲率半径} + \text{弱主経線曲率半径}}{2} + 0 \sim 0.04\text{mm}$$

## 3. ⑩ フィッティング検査

・瞬目や流涙が多い場合は、安定するまでしばらく待ちます。(約15分)  
・フルオレセインパターン・レンズの安定位置・レンズの動きを確認してベースカーブ(および直径)を決定します。

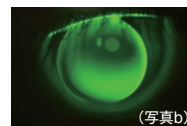
**適応**…瞬目後の静止安定位置が角膜中央に安定するフィッティングパターンが理想です。

・レンズが上眼瞼にくわえ込まれて、眼瞼の動きとレンズの動きが連動するフィッティングも適応。  
(リッドアタッチメントフィッティング)(写真a)



**非適応**…遠近ともに満足度が得られない場合のフィッティングパターン。

・フラット…レンズが耳鼻側に惰行し、安定位置が定まらない状態。交代視しにくく、見え方も定まらないことがあります。(写真b)  
・左右のレンズの動きが極端にバラバラの状態。両眼視の見え方に影響することがあります。  
・下方固着(禁忌)…まばたきしてもレンズが動かない状態。



## 4. ⑪ 遠方視力追加矯正検査

・遠方視力検査…目安となる片眼視力は、約1.0になります。  
・トライアルレンズの加入度数によって球面度数が異なりますので注意してください。  
・瞬目後の「不安定な見え方」が気になる場合は、S-0.25Dを加えて比較してください。  
・検眼レンズによる追加矯正度数がS±3.75D以上の場合は、角膜頂点間距離の換算が必要です。「角膜頂点間距離補正表」に従い換算してからトライアル度数に加えて処方度数としてください。

## 5. ⑫ 近方視力矯正検査

・近方視力検査…目安となる片眼視力は、約0.4(近方視力検査表 約30cm)になります。  
・近方を見る時は、顔は正面視のまま視線のみ下方視させてから確認してください。

## 6. ⑬ 両眼開放視力検査(遠用近用の常用度数の確認)

- ・両眼視(⑪遠方視力追加矯正検査の度数)による遠方・近方の見え方を調整します。(初回は、トライアルレンズの加入度数のまま調整してください。)
- ・優位眼を確認し、必要に応じて両眼のバランスを確認します。(遠方・近方)
- ・遠くの見え方は、待合室や屋外等で確認し、近くの見え方は、新聞・雑誌を用いて確認してください。
- ・さらに階段の昇降、明暗時の見え方の違いを確認し、実生活環境に近い条件での体験をしていただくことで適応、非適応の判断がしやすくなります。

## 7. ⑭ 処方レンズ規格の決定

- ① どうしたら遠中近ともに見えるのかの原理をよく患者に説明してください。
- ② 最終度数の決定は、両眼開放視力で行ってください。
- ③ できるだけ実生活の環境に近い環境下(待合室・屋外等)での見え方の確認を行ってください。
- ④ 明暗による見え方の違いがキャンセルの原因になることがあります。暗室などで光を見たときの状態(夜間)を体験していただき、光の散乱が気になる場合は、ベースカーブ、直径の再確認をしてください。
- ⑤ インフォームドコンセントを的確に行ってください。
- ⑥ プラスビユーⅡ[加入度数+2.50(D)、+3.00(D)]は、累進度数の変化が大きいため、初め使用する方は、満足度が得られない場合があります。プラスビユーⅡの[加入度数+2.00(D)]の見え方に慣れ、さらに近方の加入度数を求めらる方におすすめます。

### 参考(モディファイドモノビジョン法)

どうしても通常の方法では満足が得られない場合、モディファイドモノビジョン法を試すことも有効です。これは、両眼に多焦点レンズまたは片眼に多焦点レンズ、もう一方の片眼に単焦点レンズを装着して検査を行います。但し、この方法は左右の見え方が異なることがある為、必ず自覚症状と満足度で判断し、見え方には慣れが必要なことと両眼視機能のチェックが必要な場合があります。(強度の老視眼の場合は、最終的に眼鏡との併用も選択肢のひとつになります。)

### 代表的な組合せ

	標準的な組合せ	モディファイドモノビジョン法		
		組合せ例①	組合せ例②	組合せ例③
優位眼	プラスビユーⅡ 遠近バランス	プラスビユーⅡ 遠方重視	単焦点レンズ 遠方重視	プラスビユーⅡ 遠方重視
非優位眼	プラスビユーⅡ 遠近バランス	プラスビユーⅡ 近方重視	プラスビユーⅡ 近方重視	単焦点レンズ 近方重視

※優位眼に遠方重視のプラスビユーⅡ→ADD+0.75D or ADD+1.50D

※非優位眼に近方重視のプラスビユーⅡ→ADD+2.00D or ADD+2.50D or ADD+3.00D

## 8. ⑮ 取扱いの指導(インフォームドコンセント)

### 【留意事項】

- ① 終日装用レンズですので就寝時や仮眠時には、必ずレンズをはずすように指導してください。
- ② 車の運転には十分な注意が必要です。夜間にライトの散乱を感じる場合がありますので、不安な場合は運転をしないよう指導してください。
- ③ 遠近両用の見え方に慣れなくて目が疲れやすい場合は、レンズの装用を中止し、処方した眼科医に相談するように指導してください。
- ④ 異物感・充血等、何らかの不調を感じた場合は直ちにレンズの装用を中止し、処方した眼科医に相談するよう指導してください。
- ⑤ 成熟した老視には適さない場合があります。
- ⑥ 目の形状、屈折異常の状態によっては適合しない場合があります。
- ⑦ ご職業・使用目的によっては使用できない場合があります。
- ⑧ 個人差がありますが、老視が進行するにつれ、見えにくくなる場合があります。このような場合は、レンズの作りかえが必要になりますので、処方した眼科医に相談するように指導してください。

### レンズケア

レンズケアは、レンズの性能を維持し、安全で快適な装用を続けるために欠くことのできないものです。

◎レンズの性能を十分に発揮するためにも、正しい取り扱い方法をご指導ください。

◎ニチコンプラスビユーⅡのレンズケアは、うるおい成分が入った“ワンオーケア”等の洗浄保存液をお使いください。

◎レンズが汚れやすい方には、微粒子入りの“スーパークリーナー”等でのこすり洗い洗浄や装着薬の使用といった対策をご指導ください。

◎ケア用品の取り扱いに際しては、使用するケア用品の使用説明書及び表示事項を必ず読むようにご指導ください。

### 定期検査

安全で快適な装用感を続けるために、調子良く装用していても定期検査を受けるように指導してください。

### 処方の際に注意していただきたいこと

◎コンタクトレンズは高度管理医療機器です。

コンタクトレンズは、眼に直接のせて使用する高度管理医療機器です。取り扱い方法やケア方法を誤ると重篤な眼障害につながる場合があります。

患者には正しい取り扱い方法と定期検査の必要性をご説明ください。

◎添付文書もあわせてお読みいただきますよう、お願いいたします。

### 角膜頂点間距離補正表(12mm)

S±30.00(D) (0.25(D)ステップ) (D)

眼鏡球面度数 (12mm)	コンタクトレンズ度数(D)	
	マイナス	プラス
Sph±(D)	Sph-(D)	Sph+(D)
±0.00~3.50	補正なし	補正なし
3.75	-3.50	+4.00
4.00	-3.75	+4.25
4.25	-4.00	+4.50
4.50	-4.25	+4.75
4.75	-4.50	+5.00
5.00	-4.75	+5.25
5.25	-5.00	+5.50
5.50	-5.25	+6.00
5.75	-5.25	+6.25
6.00	-5.50	+6.50
6.25	-5.75	+6.75
6.50	-6.00	+7.00
6.75	-6.25	+7.25
7.00	-6.50	+7.75
7.25	-6.75	+8.00
7.50	-6.75	+8.25
7.75	-7.00	+8.50
8.00	-7.25	+8.75
8.25	-7.50	+9.25
8.50	-7.75	+9.50
8.75	-8.00	+9.75
9.00	-8.00	+10.00
9.25	-8.25	+10.50
9.50	-8.50	+10.75
9.75	-8.75	+11.00
10.00	-9.00	+11.25
10.50	-9.25	+12.00
11.00	-9.75	+12.75
11.50	-10.00	+13.25
12.00	-10.50	+14.00
12.50	-10.75	+14.75
13.00	-11.25	+15.50
13.50	-11.50	+16.00
14.00	-12.00	+16.75
14.50	-12.25	+17.50
15.00	-12.75	+18.25
15.50	-13.00	+19.00
16.00	-13.50	+19.75
16.50	-13.75	+20.50
17.00	-14.00	+21.25
17.50	-14.50	+22.25
18.00	-14.75	+23.00
18.50	-15.25	+23.75
19.00	-15.50	+24.50
19.50	-15.75	+25.50
20.00	-16.00	+26.25
20.50	-16.50	+27.25
21.00	-16.75	+28.00
21.50	-17.00	+29.00
22.00	-17.50	+30.00
22.50	-17.75	+30.75
23.00	-18.00	+31.75
23.50	-18.25	+32.75
24.00	-18.50	+33.75
24.50	-19.00	+34.75
25.00	-19.25	+35.75
25.50	-19.50	+36.75
26.00	-19.75	+37.75
26.50	-20.00	+38.75
27.00	-20.50	+40.00
27.50	-20.75	+41.00
28.00	-21.00	+42.25
28.50	-21.25	+43.25
29.00	-21.50	+44.50
29.50	-21.75	+45.75
30.00	-22.00	+47.00

※角膜頂点間距離補正度数(D) D=D/1-0.012×D

※製作範囲のステップを確認し処方決定してください。

例: S±10.00D以上は、0.50Dステップのときの参考例

①検査処方データ S-10.75Dの0.50ステップのとき、切り捨ての S-10.50D にてオーダー。

②検査処方データ S+10.75Dの0.50ステップのとき、切り上げの S+11.00D にてオーダー。

製造販売業者:

**アイミー株式会社**

ご不明な点はアイミーコールまで、お問い合わせください。

アイミーコール 0120-131-469  
受付時間/9:00~17:00(土日祝日を除く)



ホームページアドレス <http://www.aime.jp>